

4 - 2 真鶴における土地傾斜

Ground Tilts at Manazuru, Kanagawa Prefecture

東京大学地震研究所 地殻変動研究部門

油壺地殻変動観測所

Research Section for Crustal Movements, and
Aburatsubo Crustal Movement Observatory,
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

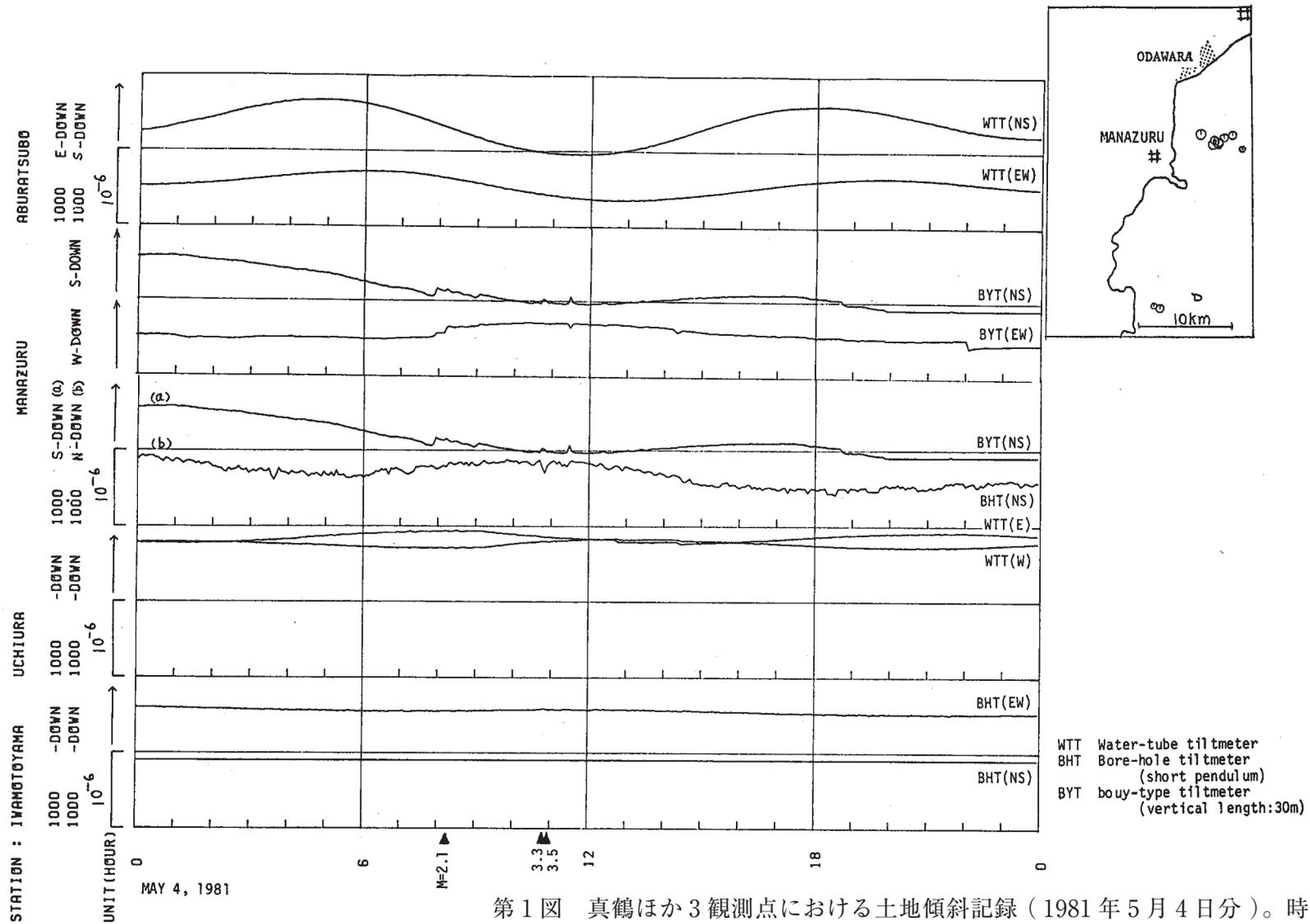
1981年5月4日から5日にかけて真鶴半島東方沖で一連の地震活動があった¹⁾(第1図右上図)。

本報告は、地殻活動総合観測線(南関東)の真鶴観測点に重点を置き、この時期における土地傾斜の状況を概観した結果である。第1図は5月4日の全日分、また第2図は比較的顕著な地震の発生前後の記録(真鶴)を拡大して示したものである。地震時に対応する変動は記録の各所に見受けられるけれども、格別に前兆的と思われる現象は見当たらない。なお、この地震活動に先立つ5月4日8時過ぎには、やや離れた位置でM2.1の地震があったが、その30分程前はかなり顕著な記録線のずれが真鶴の両成分に認められる。地震活動との関係をこれだけの資料から速断することは無理であるが、念のため隣接観測点(他機関)の記録と照合する必要がある。

[訂正] 地震予知連絡会の席上配布した図面には計器成分名に誤があったので、本報告の通り訂正する。

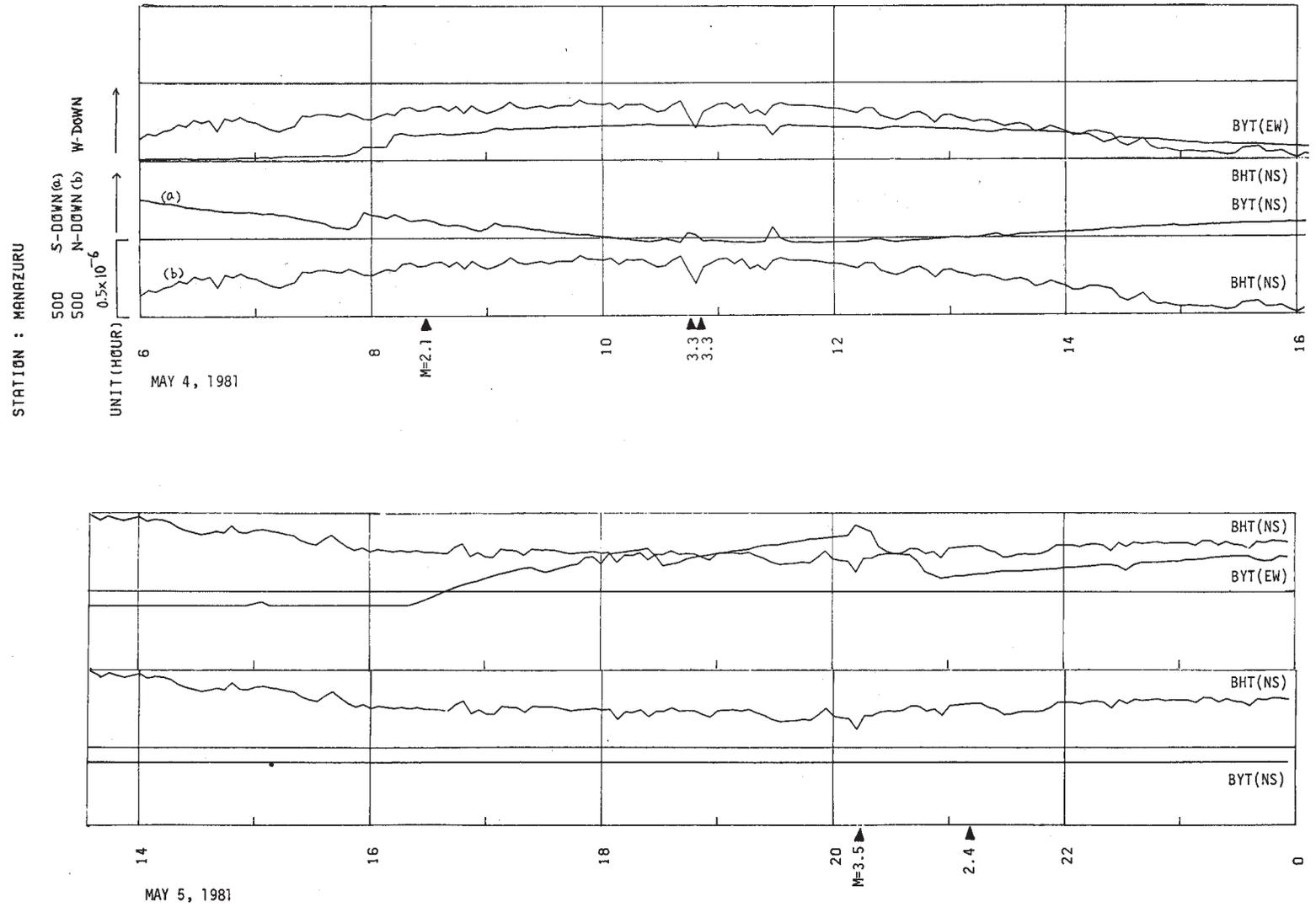
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所: 伊豆半島付近の地震活動(1980年11月~1981年5月), 連絡会報, 26(1981), 164 - 168.



第1図 真鶴ほか3観測点における土地傾斜記録(1981年5月4日分)。時間目盛に付けた黒三角印と数字は近くのおもな地震とそのマグニチュード(右上の付図参照)。

Fig.1 Ground tilts recorded at Manazuru and three other stations (May 4, 1981). Solid triangles and attached numerals along the time axis represent principal local earthquakes and their magnitude (see the index map at top right for their locations).



第2図 真鶴付近のおもな地震の発生前後における土地傾斜記録（拡大図）。
Fig. 2 Details of the tiltmeter records at about the occurrence time of principal local earthquakes.